

年間指導計画・評価計画

第6学年 国語

★は前年度の単元
☆家庭で学習する内容

月	単元	
1学期	「帰り道」	登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えたり、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したりする。
	「漢字の形と音・意味」	漢字の由来、特質などについて理解することができる。
	「たのしみは」	構成や書き表し方などに着目して、短歌を整える。
	「聞いて考えを深めよう」	話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。
	「笑うから楽しい」	原因と結果など情報と情報との関係について理解したり、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。
	「時計の時間と心の時間」	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。
2学期	「1枚の写真から」★	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。
	「森へ」	語句の構成や変化について理解する。
	「熟語の成り立ち」	人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりし、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。
	「やまなし」	語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づく。
	「わらぐつの中の神様」★	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づく。
	「言葉の変化」	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。
3学期	「みんなで楽しく過ごすために」	古典について解説した文章を読んだり作品の内容の天体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知る。
	「鳥獣戯画を読む」	親しみやすい古典芸能の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむ。
	「古典芸能の世界」	目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表
	「狂言 柿山伏」	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。
	「大切にしたい言葉」	☆「これからの社会でどう生きていくか」ということについて、自分の意見をまとめる。
	「メディアと人間社会」	☆「人を引きつける表現」
4学期	「思い出を言葉に」	目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にする。
	「今、私は、ぼくは」	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。
	「海の命」	人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることを通して、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げ
	「中学校へつなげよう」	☆それぞれの登場人物の生き方について考え、それに対する自分の考えをまとめる。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解している。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げている。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物（ノート・プリント・課題等）

年間指導計画・評価計画

第6学年 算数

★は前年度の単元
☆家庭で学習する内容

月	単元	学習内容
1学期	「対称な図形」 「文字と式」	対称な図形の観察や構成を通してその意味や性質を理解し、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりする。 数量の関係を文字を用いて式で一般的に表すことを理解し、文字に数をあてはめて調べることができ、数学的表現である式を活用する。
	「分数のかけ算」 「分数のわり算」 「分数の倍」	分数の乗法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える。 ☆分数のわり算の練習問題
	「比」	2つの数量の割合を表す方法として、比について理解し、既習の割合と関連付け、数量の関係の比べ方を考える。
	「拡大図と縮図」 「円の面積」 「正多角形と円周の長さ」★	拡大図や縮図の観察やかくことを通して拡大図、縮図の意味や性質について理解し、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりする。 円の面積の計算による求め方について理解し、図形を構成する要素などに着目し、図形の面積について考える。
2学期	「角柱と円柱の体積」 「角柱と円柱」★ 「およその面積と体積」 「比例と反比例」	角柱や円柱の体積の計算による求め方について理解し、図形を構成する要素に着目し、図形の体積について考える。 身の回りにあるものの形について、その概形をとらえることでおよその面積や体積を求められることを理解し、図形を構成する要素や性質に着目し、面積や体積の求め方を筋道立てて考える。 ☆比例のグラフを考察する問題 ☆角柱や円柱の体積の演習
	「並べ方と組み合わせ方」	順列や組み合わせについて、落ちや重ならないように、起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解し、事象の特徴に着目し、順序よく整理する。 ☆図、表、式を用いて数量の関係を見つける問題
	「データの調べ方」	代表値の意味や求め方、度数分布表や柱状グラフ（ヒストグラム）、統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理する。
	「算数のしあげ」 「算数のしあげ」 「算数卒業旅行」	6年間の算数の学習を振り返りながら、本単元の学習に取り組むことを通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさに気づき、算数と日常生活との関連についての理解を深める。 ☆小学校の学習内容の復習課題演習
3学期	「算数のしあげ」	6年間の算数の学習を振り返りながら、本単元の学習に取り組むことを通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさに気づき、算数と日常生活との関連についての理解を深める。
	「算数のしあげ」	6年間の算数の学習を振り返りながら、本単元の学習に取り組むことを通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさに気づき、算数と日常生活との関連についての理解を深める。
	「算数卒業旅行」	数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用する。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	ものの数、形、身の回りにあるものの特徴を捉え、数え方や計算の仕方、形の構成や量の大きさの比べ方を考えたり、判断したり、表現したりしている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考え、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物(ノート・プリント・課題等)

年間指導計画・評価計画

第6学年 理科

月	単元	学習内容
1学期	「ものの燃え方」	・ 燃焼のしくみについて調べる。
	「植物の体のつくりとはたらき①」 (日光との関わり)	・ 日光と、葉にできる養分を関係付けて調べる。
	「人やほかの動物の体のつくりとはたらき」	・ 体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きに着目して、生命を維持する働きを多面的に調べる。
	「植物の体のつくりとはたらき②」 (水との関わり)	・ 植物の体のつくりと水の通り道を関係付けて調べる。 ・ 葉の表面のつくりと水の出口を関係付けて調べる。
	「生物と地球環境」	・ 生物同士の関わりと姿を変える地球上の水を関係付けて調べる。
2学期	「月と太陽」	・ 月の形の見え方と太陽の位置の関係を調べる。
	「水よう液の性質」	・ 水に溶けている物に着目して、それらによる水溶液の性質や働きの違いを調べる。
	「土地のつくりと変化」	・ 流れる水の働き、火山の働きと地層のでき方の関係を調べる。
	「てこのはたらき」	・ 実験用でこのうでが水平になってつり合うときのきまりを条件を整えて調べる。
3学期	「私たちの生活と電気」	・ 豆電球と発光ダイオードの明かりのついている時間を条件を整えて調べる。
	「私たちの生活と電気」	・ 豆電球と発光ダイオードの明かりのついている時間を条件を整えて調べる。
	「かけがいのない地球環境」	・ 地球環境を守るための取り組みをいろいろな方法で調べる。
	「かけがいのない地球環境」	・ 地球環境を守るための取り組みをいろいろな方法で調べる。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	自然事象の基礎を理解し、問題に適した方法で、観察や実験をすることができる。	・ 提出物(ノート・プリント・課題等) ・ 小テスト、テスト、作品 ・ 授業中の取り組み状況 ・ 発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	自然現象の変化がおこる原因を考えることができる。	・ 提出物(ノート・プリント・課題等) ・ 小テスト、テスト、作品 ・ 授業中の取り組み状況 ・ 発言、自己評価、相互評価 ・ 作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	活動内容を振り返り、見いだした課題に粘り強く取り組もうとしている。	・ 授業に取り組む姿勢 ・ 提出物(ノート・プリント・課題等)

年間指導計画・評価計画

第6学年 社会

月	単元	学習内容
4月	1 わが国の政治のはたらき ・憲法と政治のしくみ	日本国憲法と我が国の政治や国民生活との関わりについて、憲法の基本的な考え方をつかみ、我が国の民主政治は、日本国憲法の基本的な考え方にもとづいていることを理解する。
5月	・わたしたちの願いと政治のはたらき	学童保育における待機児童の社会的な問題について、市民のいろいろな要望を聞き実現していく市区町村や国の政治は、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。
6月	2 日本のあゆみ ・大昔のくらしと国の統一	「くに」としての我が国の歴史が形づくられるまでの過程を学習する。
7月	・天皇を中心とした政治 ・貴族が生み出した新しい文化	当時の民衆の生活の様子は、平城宮跡から発見された木簡、または各地から都へ届けられた税や特産物などを手がかりとしてつかむことができる。日本風の文化が生まれたこと、日本風の文化の具体、今に続く年中行事や遊びがあることを理解できるようにする。
9月	・武士による政治の始まり ・今に伝わる室町の文化と人々のくらし	貴族にかわって武士が国の政治をつかさどるようになったことを理解するとともに、当時の社会の様子や人々の生活の移り変わりについて学ぶ。室町時代に生まれた文化と今の自分たちのくらしとの関わりについて追究活動を進めていく。
10月	・戦国の世の統一 ・武士による政治の安定	農業や漁業をおこなう人々の近くに武士たちが住んでいたが、やがて分離し、城下町がつくられていったことを理解する。武士の中の上下の関係、武士と農民・旅人の身分について理解する。
11月	・江戸の社会と文化・学問 ・明治の新しい国づくり	産業の発展と各地の交易を背景に江戸や大阪などのまちが大都市へと成長し、町人が力をつけていったことを理解する。幕府や藩の政治の失敗や物価の上昇に対する民衆の不満が背景にあったことを理解する。
12月	・国力の充実をめざす日本と国際社会	年表を読み取ることにより、どのような出来事が起こったのかを理解する。また、大日本帝国憲法の発布や日清・日露の戦争などに関心をもつ。
1月	・アジア・太平洋に広がる戦争 ・新しい日本へのあゆみ	日本が中国との全面戦争に突入していき、その結果、東南アジアから太平洋にまで戦場が広がっていったことをとらえる。現在の平和で繁栄した社会になるまでにどのような苦労があったのかを考える。
2月	3 世界のなかの日本とわたしたち ・つながりの深い国々のくらし	外国から伝わった文化が広がり我が国のくらしが豊かになっている面や、輸出入の関係で外国とのつながりが欠かせない面、また日本への観光客や日本でくらす外国人との関わりといった面に気づく。
3月	・国際連合と日本の役割	国連が地球環境について中心的な役割を果たしていることや、民間組織（NGO）から市民までもに課題に対して協力して取り組むことが、持続可能な開発を達成するうえで大切であることを学習する。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	社会的事象の基礎を理解したり、資料を適切に活用して調べたことをまとめたりできる。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	社会的事象について、自分なりの考えをもち、考えたことや選択・判断したことを説明したり、議論したりすることができる。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について関心をもち、進んで調べようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物（ノート・プリント・課題等）

年間指導計画・評価計画

第6学年 体育

	単元	目 標
1学期	体ほぐしの運動	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、仲間と体を動かす楽しさや心地よさを味わう。
	体の動きを高める運動	・体の動きを高めるためのいろいろな運動の行い方を理解し、動きを工夫して体力を高める。
	短距離走・リレー	・よりよい走り方を身に付けて、短距離走の日本記録に挑戦したり、みんなの力を生かす作戦を工夫して、チームの合計記録を縮めることに挑戦したりする。
	鉄棒運動	・できそうな技に挑戦したり、できる技を組み合わせたりして、鉄棒運動を楽しむ。
	跳び箱運動	・いろいろな技に挑戦し、安定した跳び方ができるようにする。
2学期	表現	・運動の楽しさや喜びにふれ、仲間と動きを合わせたり、踊りの特徴をとらえたりして表現できるようにする。
	走り高跳び	・リズムカルな助走から力強く踏み切って高く跳び、自分の記録に挑戦したり、走り高跳びの競争をしたりする。
	2種競技（走り幅跳び・ソフトボール投げ）	・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技をして、記録に挑戦したり、得点競争をしたりする。
3学期	ネット型（ソフトバレーボール）	・攻めの組み立て方を工夫して、ソフトバレーボールをする。
	ゴール型（バスケットボール）	・パスやシュートをしながら攻め方を工夫して、バスケットボールをする。
	ゴール型（サッカー）	・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫して、簡易化されたゲームをして、攻防する。
1学期	病気の起こり方	・病気は病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などが関わり合って起こることを理解できるようにする。 ・病気の原因について、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などの要因に分類して考え、説明できるようにする。 ・いろいろな病気やその起こり方について関心をもち、課題の解決に協力して取り組むことができるようにする。
	感染症の予防	・病原体が主な原因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めておくことが必要であることを理解できるようにする。 ・感染症の予防の仕方を考えたり、選んだりした方法がなぜ適切であるか、理由をあげて学習カードに書くことができるようにする。 ・病気の予防について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、進んで取り組むことができるようにする。
	生活習慣病の予防①	・生活習慣病を予防するには、運動、食事、睡眠などについて、健康によい生活習慣を身に付けることが必要であることを理解できるようにする。 ・生活習慣病の原因となる生活習慣について考え、生活習慣病を予防する方法について説明することができるようにする。 ・生活習慣病に関心をもち、学習した知識をもとに自分の生活を振り返るなど、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。
	生活習慣病の予防②	・むし歯や歯周病の予防には、毎日の生活の仕方が関係していることを理解できるようにする。 ・むし歯や歯周病の予防方法について、学習した知識を活用して具体的に考え、説明できるようにする。 ・口腔の衛生を保つための生活習慣について、自己の生活を振り返ったり、これからの生活の仕方を考えたりしながら、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。
	喫煙の害	・喫煙には、急性の害と慢性の害があることや受動喫煙により周囲の人々の健康にも害を及ぼすことを理解できるようにする。
		・喫煙と健康について、害や体への影響を考え、説明できるようにする。
		・喫煙の害について資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。
	飲酒の害	・飲酒は、判断力が鈍る、呼吸や胸が苦しくなるなどの影響がすぐに現れることや、飲酒を長い間続けると肝臓がんなどの病気の原因になることを理解できるようにする。 ・飲酒の害や体への影響を考え、説明することができるようにする。
		・飲酒と健康について関心をもち、課題の解決に協力して取り組むことができるようにする。
	薬物乱用の害	・薬物乱用は、1回の乱用で死に至ることがあり、乱用を続けるとやめられなくなつて、心身の健康に深刻な害を与えることを理解できるようにする。 ・薬物乱用の害や周りの人への影響を考え、説明することができるようにする。
		・薬物乱用について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、進んで取り組むことができるようにする。
	地域の保健活動	・人々の病気を予防するために、保健所や保健センターなどでは、健康な生活習慣に関わる情報提供や予防接種などの活動が行われていることを理解できるようにする。 ・地域の様々な保健活動の取り組みの中から、人々の病気を予防するための取り組みを選ぶことができるようにする。 ・地域の保健活動について、課題の解決に向けての調べ学習や発表などの学習活動に、進んで取り組むことができるようにする。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	運動の行い方及び病気の予防について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。	・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・実技 ・学習カード
思考・判断・表現	自己の運動や健康の課題を見付け、解決のための方法を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・実技 ・学習カード ・作戦カード
主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意して自己の最善を尽くして運動しようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・実技 ・学習カード

年間指導計画・評価計画

第6学年 道徳

★は前年度の単元
☆家庭で学習する内容

月	単元	学習内容
一学期	【未来に向かって】 1 まどさんからの手紙	まど・みちおさんが、子供たちへ書いた手紙を通して、「まどさんからの手紙」が伝えていることについて考えさせ、さまざまな障害や困難にくじけず、自分のよさや可能性を自覚して、よりよく歩んでいこうとする心情を育てる。
	2 めくもり	友達の言葉から自分の長所に気づき、それを伸ばそうとする小春の姿を通して、自分の長所を知ることとはなぜ大切かを考えさせ、自分自身の長所に目を向け、それを積極的に伸ばそうとする実践意欲と態度を育てる。
	3 自分を信じて	体調を崩しながらも、諦めることなくスケートを続け、新たな技を成功させた鈴木明子さんの姿を通して、くじけそうになったとき自分を支えてくれるものは何かを考えさせ、自己の向上のために高い目標をもち、苦しくても努力して物事をやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。
	【生活を見直す】 4 なれなかったリレーの選手	ゲームのしすぎで寝不足になってしまい、リレーの選手になれなかった「ぼく」の姿を通して、後悔しないために自頃から大切にしなければならぬことは何かを考えさせ、自分の生活を進んで見直し、節度を守り節制に心がけようとする実践意欲と態度を育てる。
	【礼儀とは】 5 礼儀正しいふるまい 6 子ども会のキャンプ	中学生の挨拶や振る舞いを見かけた陸の姿を通して、礼儀正しい振る舞いについて考えさせ、時と場に応じて、適切な言動を取ろうとする実践意欲と態度を育てる。
	【だれにでも公正・公平な心で】 7 泣き虫	クラスで起きたいじめに対する、トオルくん、藤井くん、勇気くん、「私」の行動を描いた物語を通して、誰にでも公正で公平な態度でいるために必要なのはどんな気持ちかを考えさせ、不正を許さない剛固たる姿勢をもち、身近な差別や偏見に向き合い、正義の実現に努めようとする実践意欲と態度を育てる。
	8 この胸の痛みを	自分を振り回す由希を無視するが、由希が寂しそうにしているところを見て思い悩む「私」の姿を通して、「広い心」とはどんな心かを考えさせ、相手の過ちなどを広い心で受け止め、適切に対処しようとする実践意欲と態度を育てる。
	9 ロレンゾの友達	幼なじみのロレンゾに電報で呼び出された3人が、ロレンゾの悪い噂を聞き、どうするべきか悩む姿を通して、友達を信じるとはどういうことかを考えさせ、相互の信頼の下に、互いの人格を尊重し、真の友情を築こうとする実践意欲と態度を育てる。
	10 今度は、ぼくの番	病氣と闘う木原先生のためにできることはないかと考え、はがきを書くことを決めた「ぼく」の姿を通して、相手を思う心はどのような行動で示せるかを考えさせ、相手にどのように接し、対処することが相手のためになるのかを考え、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。
二学期	11 海のゆりかご——アマモの再生	大好きな力なが、岡山の漁師の長年の努力によって守られている事実を知った庵子の姿を通して、自然を大切にするためにできることは何かを考えさせ、自然環境に関わる課題に関心をもち、自分にできる範囲で自然環境を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
	12 命の旅	北海道・知床の動物たちの生きる姿、新しい命を残すために死んでいく姿、その命を食べるという人間の営みを通して、「命の旅」の意味について考えさせ、生命は、多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを知り、生命を尊重しようとする心情を育てる。
	13 世界人権宣言から学ぼう	「世界人権宣言」を通して、そこからどんなことを学べるかについて考えさせ、他者の権利を尊重し、自分の権利を正しく主張して、互いの権利を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
	14 気に入らなかった写真	友達の写っている写真をインターネット上に投稿し、友達から削除を求められ悩む「お姉さん」の姿を通して、インターネットを利用するときにはどのような責任が伴うのかを考えさせ、相手や周りのことを考え、自律的で責任ある行動を取ろうとする判断力を育てる。
	15 手品師	大舞台での活躍と幼い子供と交わした約束との間で迷った手品師の姿を通して、「誠実に生きる」とはどういうことかを考えさせ、自分自身に誠実でいようとする心情を育てる。
	16 みんな、おかしいよ！	友達への言い方がきつい真紀、真紀に本当のことが言えない和花、和花の態度が信用できない絵里子の姿を通して、相手と理解し合うためには、どんなことに気をつければよいのかを考えさせ、自分の考えや意見を相手に伝え、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする実践意欲と態度を育てる。
	17 コスモスの花	いつもは目立たない北山が友達から賞賛されたことを快く思えない「ぼく」の姿を通して、友達とはどんな存在なのかについて考えさせ、真の友情を育て、互いを尊重し合う健全な友達関係を築いていこうとする心情を育てる。
	18 六年生の責任って？	最高学年としてできることについて話し合う中で、何が6年生としての責任なのか悩む「ぼく」の姿を通して、よりよい学校にしていけるために、6年生としてどんなことができるのかを考えさせ、集団における自分の役割を自覚して責任を果たし、学校生活を充実させようとする判断力を育てる。
	19 ぼくの名前呼んで	聴覚障害者の両親に一度も名前を呼べたことがないことについて、父親に思いをぶつける太郎と、太郎に気持ちを伝える父親の姿を通して、「ぼくの名前呼んで」に描かれている家族が何を教えてくれているのかを考えさせ、家族の信頼関係を大切に、家族の幸せに貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。
	20 ここを走れば	危篤の祖父の元へ向かうときでさえ交通規則を守る父親と、それを見つめる「ぼく」の姿を通して、法やきまりを支えているのは、人々のどんな考えかについて考えさせ、法やきまりの意義を理解したうえで、進んで守ろうとする心情を育てる。
	21 最後のおくり物	貧しくて養成所に通うことができないロベアーズに密かにお金を送るジョルジュじいさんの思いと、それに涙を流すロベアーズの姿を通して、心からの思いやりや親切とはどんなものかを考えさせ、自分自身が相手に対してどのように接し、対処することが相手のためになるのかをよく考え、思いやりの心をもって行動しようとする心情を育てる。
	22 ようこそ、首島へ！	島を訪れる人に、島のよさをもっと伝えたいと思う純平の姿を通して、郷土を大切にすることの源となるのは、どんな思いかを考えさせ、受け継がれてきた郷土の伝統と文化を大切に、発展させていこうとする心情を育てる。
	23 「働く」って、ということ？	さまざまな職業に就く人々の姿を描いた1枚の絵や、働く人のエピソードとアンケート調査結果を通して、人は何のために働くのかを考えさせ、働くことの意義を理解し、公共のために役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。
	24 マザー = テレサ	「死を待つ人の家」をつくり、一人一人に慈愛の手を差し伸べ続けたマザー = テレサの姿を通して、マザー = テレサの生き方から何を感じるかについて考えさせ、人間のもつ心の崇高さや偉大さに感動する心を大切にしようとする心情を育てる。
	25 三十八億年の命	全ての命は38億年も前からつながっているという文章を通して、「命」は、誰のものなのかを考えさせ、つながりの中にあるかけがえのない命を慎み深く受け止めようとする心情を育てる。
	26 五十五年目の恩返し	何千人ものユダヤ人の命を助けた杉原千蔵と、阪神・淡路大震災の後に援助を申し出たユダヤ人の子孫たちの姿を通して、感謝の心とはどのようなものかを考えさせ、日々の生活が、多くの人の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝するとともに、それに応えようとする実践意欲と態度を育てる。
	27 「クメール耕」の復興を目ざして	カンボジアの伝統技術を復活させた森本喜久男さんの姿を通して、他国の人々と理解し合うためにはどのような考えが必要かを考えさせ、国際理解を深め、国際親善に努めようとする実践意欲と態度を育てる。
	28 おじいちゃんとの約束	祖父の死をきっかけに、命の意味を深く考えるようになった信二の姿を通して、命の重みについて考えさせ、人間の死の重さや命のかけがえのなさを理解したうえで、限りある命を懸命に生きようとする心情を育てる。
三学期	29 私には夢がある	アフリカ系アメリカ人への差別をなくすために尽力したマーティンの姿を通して、マーティンが目ざす世界を実現するためにはどんな考えが大切かを考えさせ、社会的な差別や偏見などに向き合い、正義の実現に努めようとする判断力を育てる。
	30 エルトワール号	1890年のトルコ船の沈没事故のときに、船員たちの命を助けた村人たちの姿と、今でも慰霊祭を行うなどしてトルコとの関係を大事にしている人々の姿を通して、他国の人々と支え合いながら生きていくために、どんなことが大切かを考えさせ、進んで他国の人々とながら、親しみの気持ちをもって国際親善に努めようとする実践意欲と態度を育てる。
	31 日本植物分類学の父——牧野富太郎	植物の研究に邁進し、常に探究心をもち粘り強く観察を続ける富太郎の姿と、その生涯の功績を通して、人はなぜ物事を探究しようとするのかを考えさせ、真理を大切に、物事の本質を見極めようとする実践意欲と態度を育てる。
	32 スイッチ	さまざまな人たちがいっしょに踊るダンスを見て、やる気のスイッチが入った「私」の姿を通して、自由を実現させるためにはどんな心が大切かを考えさせ、自由を捉え違えることなく、自律的で責任ある行動を取ろうとする心情を育てる。
	33 小川笙船	貧しい人々の命を救うために、小石川養生所をつくり、若い医者を育てながら手厚く貧しい病人をみ続けた小川笙船の姿を通して、自分の決めたことをやり遂げるために大切なのはどんな心かを考えさせ、直面する困難を乗り越え、理想に向かって努力しようとする実践意欲と態度を育てる。
	34 「ありがとう」の気持ちを伝える	「感謝の気持ちを伝えていくか」に関する調査データや、2つの「感謝」に関する作文を通して、自分の中にある感謝の気持ちについて考えさせ、多くの人の支えや助け合いで成り立っている日々の生活に感謝し、自分のすべきことを進んでしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	35 一さいから百さいの夢	それぞれの年齢の人の、それぞれの「夢」を通し、夢が私たちに与えてくれるものについて考えさせ、よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解したうえで、夢や希望をもって生きようとする心情を育てる。

年間指導計画・評価計画

第6学年 図画工作

★は前年度の単元
☆家庭で学習する内容

月	単元	学習内容
一学期	想像のつばさを広げて 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／想像したことから表す	心の中で思い浮かべたり、考えたりしている不思議な世界を想像し、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。
	動きをとらえて形を見つけて 材料や場所を基にして活動する／場所・環境を生かして	風が吹く場所を探し、どのように風を美しく見せるのかを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、活動を工夫する。
	～風をとらえて～ 2～6	
	～水をとらえて～ 2～4	水の動きや一瞬の形を、どのように美しく捉えるのかを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、活動を工夫する。
	水の流れのように 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／粘土で 4～8	ガラスが溶けて流れる様子を想像しながら、焼き物にして表したい形を見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。
	わたしの大切な風景 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／生活経験から表す 2～8	日頃の生活の中にある自分にとって大切な風景を見たり思い浮かべたりしながら、そのときの様子や思いに合う形や色の特徴を捉え、工夫して絵に表すことを楽しむ。
二学期	くるくるクランク 遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる 6～8	クランクの仕組みを生かして、動きのある面白いおもちゃなどを考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。
	光の形 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／様々な材料で	メラミンスポンジに光を当てたり形を変えたりしながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。
	アミアミアミーゴ 飾るもの・使えるものをつくる 2～8	使う様子を思い浮かべたり、ひもや紙を織ったり編んだり組んだりしながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。
	墨で表す 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す 2～4	墨と水や用具を使ってできることを試しながら表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、表し方を工夫して表す。
	ひらいてみると 材料や場所を基にして活動する／材料を基にして 2～6	傘を開いたときの形や色、場所や空間の特徴から活動を思い付き、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、工夫して場所の様子をかえる。
	物語から広がる世界 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／物語などから感じたこと、想像したことから表す 4～8	物語を味わい、雰囲気や感じ取った思いが伝わるように、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、画面の構成を考え、表現方法を工夫して絵に表す。
	筆あとと研究所 自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ・美しさを感じ取る 1～4	美術作品の表現の工夫の一つである「筆あと」の特徴を捉え、作者の表現の意図や思いを感じ取り、よさや美しさを味わう。
	感じて 考えて 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す 4～6	体全体の感覚を働かせて材料や用具に触れて感じたことから表したいことを見付け、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、感じたこと、考えたことを往還しながら表し方を工夫して表す。
三学期	1まいの板から 飾るもの・使えるものをつくる 6～8	1枚の板材から、用途を考え、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、構造やつくり方を工夫して、生活の中で使えるものをつくる。
	味わってみよう和の形 自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ・美しさを感じ取る 1～4	古くから親しまれてきた日本の美術に触れ、形や色などの造形的な特徴を捉えながら、そのよさや美しさ、表現の特徴を感じ取る。
	12年後のわたし 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／様々な材料で 6～8	未来の自分を想像し、自分が将来したいことなどを考え、材料や形のつくり方を工夫して、形や色などの造形的な特徴を捉え、夢や願いを込めて立体に表す。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	表現方法に応じて材料や用具を活用し、経験や技能を活かし、表現方法を組み合わせるなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫している。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	バランスや色合いなどを基にイメージをもって表し方を考え、鑑賞しながら表現の意図や特徴などについて自分の見方や感じ方を広げている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品
主体的に学習に取り組む態度	つくりだす喜びを味わい、主体的に表したり、見たりして活動しようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・作品

年間指導計画・評価計画

第6学年 家庭

★は前年度の単元
☆家庭で学習する内容

月		単元	学習内容
一学期	1 生活時間をマネジメント	①どのように時間を使っているだろう 教：p. 8 0	○自分の生活時間を見つめ直し、課題に気づく。
		②時間の使い方に課題はないだろうか 教：p. 8 1	○自分の生活時間を調べ、家族との時間の使い方の課題を見つけ、有効な使い方が分かる。
		③生活時間を工夫しよう 教：p. 8 2・8 3	○団らんの時間や、家庭の仕事を分担して行う時間を工夫できる。
	3 クリーン大作戦	①なぜそうじをするのだろうか 教：p. 9 0	○住まいのそうじの必要性に気づき、そうじの仕方について考え、汚れの特徴を知り、課題をもって見直すことができる。
		②知ってるかな、そうじの仕方 教：p. 9 1・9 2	○場所ごとの汚れの種類や特徴を考え、汚れやごみを少なくするために、生活の仕方やそうじの仕方を見直す。
		③身の回りを快適にしよう 教：p. 9 3	○そうじの仕方についての活動をふり返って評価・改善し、課題を解決する力を身につけ、生活を工夫し、実践しようとする。
	4 すずしく快適に過ごす住まい方	①暑い日はどのように過ごしているだろう 教：p. 9 4	○暑い日を快適に過ごすために、工夫していることに気づく。
		②すずしく快適な住まい方を知ろう 教：p. 9 5・9 6	○暑い季節の住まい方について課題を見出し、快適に過ごすための工夫を考えることができる。
		③エコ生活ですずしさアップを工夫しよう 教：p. 9 7	○自分の生活に合わせて工夫し、快適な住まい方を実践しようとすることができる。
二学期	5 すずしく快適に過ごす着方と手入れ	①どのような着方がすずしいだろう 教：p. 9 9	○すずしい着方の特徴に気づく。
		②暑い季節を快適にしよう 教：p. 9 9～1 0 1	○すずしい着方について理解する。 ○日常着の手入れが必要であることや、衣服のボタンの付け方及び洗濯の仕方を理解する。 ○手洗いによる洗濯ができる。
		③快適な衣生活を工夫しよう 教：p. 1 0 2	○すずしく快適な着方を考え、工夫する。 ○衣服の着用と手入れについて、課題解決に向けて主体的に取り組み、生活を工夫し実践する。
	6 生活を豊かにソーイング	①どのようなふくろを、どのように使っているだろう	○布のふくろについて関心をもち、使う目的に応じた工夫を見つけようとすることができる。
		②目的に合ったふくろを作ろう 教：p. 1 0 5～1 0 9	○生活を豊かにするふくろを作るために、目的に合わせた工夫を考え、製作計画を立てることができる。
		③作ったふくろで生活を豊かに 教：p. 1 1 0・1 1 1	○製作計画や製作の仕方について評価したり、改善したりして、生活をよりよくする工夫を考えることができる。
	7 こんだてを工夫して	①どのような料理や食品を組み合わせて食べるとよいだろう	○毎日の食事に関心をもち、主体的に栄養を考えた食事のとり方について主体的に取り組もうとする。
		②1食分の献立を立てよう 教：p. 1 1 3～1 1 5	○1食分の献立を構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法について理解する。 ○栄養バランスのよい1食分の献立について考え、課題解決する力を身につける。
		③工夫して毎日の食生活に生かそう 教：p. 1 1 6～1 1 8	○おいしく食べる調理計画について問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身につける。 ○おいしく食べる調理計画について主体的に取り組もうとする。 ○1食分の献立を立て、課題解決に向けて工夫するなど課題を解決する力を身につける。 ○身近な物の運び方、買い方について問題を見いだして、様々な解決方法を考え課題を解決する力を身につける。 ○材料に適した調理や調理事項について、それに係る技能を身につける。 ○生活をよりよくしようと材料に適した調理や調理事項について課題の解決について振り返り生活を工夫しようとする。 ○実践したことを基に、家族のために1食分の調理計画について考えたことを分かりやすく表現する力を身につける。
	8 共に生きる地域での生活	①地域の人びととの関わりを見つめよう 教：p. 1 2 0・1 2 1	○家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることや、協力し助け合っていく必要があることについて理解できる。
		②地域でできることは何だろう 教：p. 1 2 2	○家族の一員として地域の人々とよりよく関わっていくための計画を考え、工夫し、実践を評価したり、改善したりする。 ○家族の一員として生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。
		③やってみよう・ふり返ろう 教：p. 1 2 3	○家族の一員として地域の人々と、よりよく関わっていくための実践をふり返り、考えたことを分かりやすく表現している。 ○実践をふり返り改善したり、生活を工夫したりして、実践しようとする。
三学期	9 持続可能な社会を生きる	①生活と環境のつながりを考えよう 教：p. 1 2 4	○自分の生活が環境に与えている影響について理解し、環境に配慮した生活を考えようとする。
		②物やエネルギーをどう使うか 教：p. 1 2 4	○環境に配慮した物の使い方などについて理解し、課題を見いだして解決に向けた取り組みを考える。
		③環境のことを考えた生活を続けよう 教：p. 1 2 5	○実践や家族等が行っていることをふり返り、環境負荷に配慮した生活を継続していこうとする。
	2年間の学習をふり返って、中学校の学習に生かそう		○2年間の学習をふり返り、できるようになったことを確認する。 ○中学校での学習に興味をもち、意欲を高める。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	日常生活の中から課題を見だし、様々な解決方法を考えたり表現したりしている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物(ノート・プリント・課題等)

年間指導計画・評価計画

第6学年 音楽

★は前年度の単元
☆家庭で学習する内容

月	単元	学習内容
一 学 期	○明日という大空	・明るくひびきのある声で歌う。
	(共)おぼろ月夜	・歌詞の表す情景を思いうかべながら、曲想にふさわしい歌声で歌う。
	○星空はいつも	・曲想にふさわしい歌声で歌う。
	♪木 星	・オーケストラのひびきを味わいながらきく。
	◇ラバーズ コンチェルト	・パートの役割や楽器の音色の特徴を生かして合奏する。
	☆ボイスアンサンブル	・声のひびきが重なるおもしろさを生かして、音楽をつくる。
	(共)われは海の子	・歌詞と曲想との関わりに気を付けて歌う。
二 学 期	◇メヌエット	・旋律のまとまりに気を付けながら演奏する。
	○星の世界	・歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱する。
	◇雨のうた	・和音のひびきの美しさを味わいながら演奏する。
	☆和音の音で旋律づくり	・和音にふくまれる音を使って旋律をつくる。
	○思い出のメロディー	・曲想の変化を味わいながら、思いをこめて歌う。
	♪ハンガリー舞曲 第5番	・曲想の移り変わりを味わいながらきく。
	◇風を切って	・曲想を生かして合奏する。
	♪花	・言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、日本の歌を味わう。
	♪箱根八里／荒城の月	
	(共)ふるさと	・人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌う。
	(共)越天楽今様	・日本に古くから伝わる音楽に親しむ。
三 学 期	♪雅楽「越天楽」	・日本に古くから伝わる音楽に親しむ。
	♪世界の国々の音楽	・世界のいろいろな国の音楽に親しむ。
	○きつと届ける	・曲想を生かして表情豊かに歌う。
	○さよなら友よ	・感謝の気持ちをこめて歌う。
	○あおげばとうし	・感謝の気持ちをこめて歌う。
	夏は来ぬ／浜千鳥	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌をきく。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	曲想と音楽の構造の関わりを理解し、表したい音楽表現をするための技能を身に付けている。	表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。
思考・判断・表現	自分の思いや考えをもって表現したり、曲や演奏のよさなどを見出し、音楽を味わって聴いたりしている。	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこと感じ取ったことのかかりについて考えている。
主体的に学習に取り組む態度	自ら主体的に音楽に関わり、協働して音楽表現したり、鑑賞したりしようとしている。	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

年間指導計画・評価計画

第6学年 外国語

★は前年度の単元
☆家庭で学習する内容

学期	単元名	学習活動	
1 学期	Unit 1	【SO】世界の子供たちのプロフィールについて、聞こえた順に口に番号を書こう。	
	This is me!	【YT】プロフィールを伝え合おう。	
		【EC】自分についてスピーチをしよう。	
		【OH】世界の国について考えよう。	
	Unit 2	【SO】世界の子供たちの学校生活や日課について、聞こえた順に口に番号を書こう。	
	How is your school life?	【YT】日常生活や宝物を伝え合おう。	
		【EC】宝物を伝え合おう。	
		【OH】世界の人々の生活について考えよう。	
	Unit 3	【SO】世界の有名な建物や食べ物などについて、聞こえた順に口に番号を書こう。	
	Let's go to Italy.	【YT】国や地域への旅行をすすめる表現を使おう。	
【EC】旅行代理店でおすすめの国を紹介しよう。			
【OH】世界遺産について考えよう。			
Check Your Steps 1	外国の人にメッセージを伝えよう		
外国の人にメッセージを伝えよう			
2 学期	Unit 4	【SO】夏休みの過ごし方について、聞こえた順に口に番号を書こう。	
	Summer Vacations in the World	【YT】夏休みの思い出を伝え合おう。	
		【EC】夏休みの思い出を紹介しよう。	
		【OH】世界の夏休みについて考えよう。	
	Unit 5	【SO】生き物の暮らしに関するクイズを聞こう。どんなことを話しているのかな。	
	We all live on the Earth.	【YT】地球の生き物たちについて伝えよう。	
		【EC】食物連鎖(フードチェーン)について発表しよう。	
		【OH】環境について考えよう。	
	Unit 6	【SO】登場人物が食べたものを聞こう。どんなことを話しているのかな。	
	Let's think about our food.	【YT】わたしたちの食生活について考えよう。	
		【EC】オリジナルカレーを発表しよう。	
		【OH】外国から来る食べ物について考えよう。	
	Check Your Steps 2	世界と自分のつながりを紹介しよう	
	世界と自分のつながりを紹介しよう		
	3 学期	Unit 7	【SO】日本や世界の子供たちの小学校生活の思い出について、聞こえた順に口に番号を書こう。
		My Best Memory	【YT】学校行事を通して小学校生活をふり返ろう。
【EC】小学校の思い出のアルバムを紹介し合おう。			
【OH】世界の学校生活について考えよう。			
Unit 8		【SO】中学校生活や将来の夢について聞こう。どんなことが分かるかな。	
My Future, My Dream		【YT】入りたい部活動や将来の夢を伝え合おう。	
		【EC】夢宣言カードでスピーチをしよう。	
		【OH】世界とつながる仕事について考えよう。	
Check Your Steps 3		寄せ書きのメッセージを伝えよう	
寄せ書きのメッセージを伝えよう			

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	日本語との違いを理解するとともに、聞くこと読むこと、話すこと、各ことの実践のコミュニケーションに活用できる基礎的な技能を身に付けている。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	身近で簡単な事柄について、聞いたり話したり、読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝えあっている。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	外国の文化に対する理解を深め、相手に伝わるように考えながら、外国語でコミュニケーションを図ろうとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物（ノート・プリント・課題等）